

RE:START

2025/9/19 No.2
JR東労組 青年連絡協議会
発行責任者 宮下 洋介

JR 東労組青年連絡協議会声明発出！

戦後80年！平和で安心して暮らせる社会の実現をめざし、
あらゆるテロや戦争に断固反対し、仲間と共にたたかおう！

2015年9月19日、安全保障関連法案が世論の声を無視し、強硬的に可決・成立され、2016年3月29日に施行された。これにより集団的自衛権の行使を可能にし、自衛隊の活動範囲が拡大するなど、日本の安全保障政策を大きく転換させた。

世界に目を向けると、未だ収束しないロシア・ウクライナによる紛争や、今後想定し得る台湾有事などを見ても、戦争を推し進める一部権力者たちの利益が優先され、その犠牲になるのは弱い立場の市民である。

また、日本国内では戦後80年を向かえる中においても、防衛費増額や自衛隊が進める南西シフトによる軍事強化、ミサイルの配備先が沖縄だけではなく北海道や九州など自衛隊駐屯地から選ばれ日本全体に拡大するなど、日本でも戦争ができる国づくりが着々と進んでいる。

私たちはこれまで、沖縄平和研修やヒロシマ平和研修を通じて、実際に現地に立ち過去の歴史を学ぶことで、同じ過ちを繰り返してはならないことを学んできた。

その中で、「おかしいと思っていても労働者は一人では何もできない弱い存在であること」「労働者は団結してたたかうこと」を明確にしてきた。無関心でも無関係ではいられない。今こそ、私たちの未来を真剣に考えるべきである。

また、過去から目を逸らしてはならない。1938年、産業報国会結成から、アジアで約2000万人、日本で約310万人の尊い命が失われた現実と労働組合が自ら戦争に加担してしまった事実を受け止め、二度と同じ過ちを繰り返さないために行動しなければならない。

JR東労組青年連絡協議会は、あらゆるテロにも戦争にも断固反対である。そして、私たちは戦争の「被害者」にも、「加害者」にも、「加担者」にもならない！ということを明確に訴える！

私たちは、決して押し付けではなく、仲間と共に価値観を一致させながら「いのち」を守る取り組みを推し進めていく。憲法改悪・あらゆる戦争政策に断固反対し、平和で安心して暮らせる社会の実現を目指し共にたたかおう！

2025年 9月19日
東日本旅客鉄道労働組合
青年連絡協議会

戦後80年！平和を守るために共に行動していこう！

